

熱海市 熱海地区協議会 WS資料

【1・2・3グループ】

開催日		H27.7.30地区協議会		H28.1.26地区協議会(今回)
分類		意見	考えられる対応策	意見
堤防施設	現況	高さ現況6.6mに合わせる 高さ 現況6.6m 現在の高さ6.6mあり 経費を掛けて7mにするのはどうか 防潮堤 高さ十分と考え ※(渚小公園)現況で良い 現況で良い 景観上又観光上必要なし ソフト面で考えて 現況 ソフト対策 強化 現況の高さ 避難しやすくすることに重点を ソフト対策 現況で良い 現状のままが良い	(県) ・地元との合意形成がとれれば、L1津波高さに対する堤防の整備を検討できる。 ・堤防の高さについては、地元との合意形成により、L1津波高さに対する必要堤防高以下の高さに決めることができる。	離岸堤、砂浜があるのでサンビーチ～渚デッキまでは現況高さ デッキ部分 6.6m(現況高)
	現況～L1未満	7mは高すぎる 半分程度では観光都市の意味あり 既設の建物を利用して避難をする 6.0m→6.6m 高さ 防潮堤6m60cmに		
	L1以上	全線7.0m 津波を湾全体で受けるようにする 高さ:7m 浄水管理センターの保護 高さは7mで 波打ちぎわ(防波堤) サンビーチは堤防の上 高さ:7m 範囲:全海岸沿い 基本は景観をこわさない様 統一 7m 高い方が良い 中央部東海岸部は7mで良いと思うが和田浜部は後の旅館もあるので難しい 堤防高7m ムーンテラス～マリンスパ前まで7m 客船待合所周辺景観に沿うように 未整備の箇所についてはすでに整備済の箇所と合わせると良いと思う 7m歩道のかさ上げ 現在の位置で7m確保 景観に配慮しても実現が可能 現況で6.6m 階段2段くらい デッキのかさ上げは実現可能な案 7m 6.6→7 現況で処理場前は7m必要 1Fに槽がありポンプがダメになる マリンスパまで7m マリンスパから先は判断出来ない		堤防を7mで整備 マリンスパまで 下水処理場は守る(堤防整備) 浄水場付近は眺望に問題ないので施設を守るためにも護岸で困
	水門整備	各河川に水門 各河川に水門を ※河川の河口に水門を設置 和田川、初川、糸川 水門 遠隔操作 糸川、初川、和田川 水門 7m 6.6→7 水門でデッキをつなぐ 川は水門 河川(水門):しゃ断式	(県) ・堤防の整備にあわせて、二級河川への水門設置を検討できる。	3河川の水門の整備 水門を作る(マリンスパまで) 河川、河口、水門整備(スカイデッキ～渚デッキ)
	その他	渚4工区の整備 離岸堤の高上により背後高は現状のままでもよし 糸川沿いトルコの堤(今 駐車場) コースタル第4工区 早期完成をこの地区が弱い 既設の陸間の電動化を 波高計の設置 防潮堤の整備により(延長 250m)防潮堤高を下げることも可能 津波深水高と景観を考慮して(コストも含め) 海岸から急しゅんな地形で避難可能(熱海港付近は対策必要) 避難する為に海が見えた方がよい マリンスパの所までは現在の施設の箇所 下水道用地護岸の所を上げる 住民+観光客の避難		下水処理場自体が避難所となるように整備する マリンスパ前の工事を早急にやってほしい
和田浜南地区	和田浜南地区は現況のまま 和田浜南地区避難体制を整備する	(市) ・津波避難計画及びハザードマップの作成	和田浜は整備せずに避難ビルにて対応 待合所等の屋上を避難スペースとして活用 和田浜南は景観に配慮した高さで整備 ソフト対策だけではなくハード対策も必要 0mか7mかではなくその間でも出来る範囲で整備をして欲しい、1.0～1.2mの高さで フェリー乗り場付近には海上の船などが押し寄せてくる→国道へ 和田浜南は地元の意見をきいては ホテルや漁協の人たちが主 和田浜南 堤防よりも避難路 和田浜南 (国)135号に上がる階段 地区の町内会、ホテル関係者と話し合う	
ソフト対策	避難タワーを市の土地に作る。糸川沿いトルコの堤(現在駐車場) 津波避難ビルを増やす モニュメント型の避難タワー欲しい		暗いときの避難路の表示 サンビーチ避難場所がない 避難路整備(デッキ、歩道橋) サンビーチ周辺のホテル等の意見を聞いてみる	
その他	遡上のシミュレーションを詳細に			